

会 議 記 録

会議名称	第6回忠類地域住民会議
開催日時	平成29年4月26日(水) 13:30～15:10
開催場所	忠類総合支所2階小会議室
出席者	委員長、委員13名中出席者9名、事務局4名
次 第	1 開会 2 委員長あいさつ 3 議題 報告第1号 忠類地域住民会議委員の変更について 報告第2号 忠類総合支所の今年度の事業について 議案第1号 住宅の施策等について 4 閉会
会議概要	1 開会 2 委員長あいさつ 3 議題 ○報告第1号 忠類地域住民会議委員の変更について 永田信氏が平成29年3月末で辞任し、平成29年4月から野坂正美氏が新しく委員となった。 ○報告第2号 忠類総合支所の今年度の事業について 【質問】 Q：ナウマン公園に新設する親水遊具は遊ぶと濡れるが、更衣室の設置は考えていないのか。 A：既存予算の中で何らかの対応を図りたい。 Q：ナウマン公園に流れる水の衛生面は大丈夫か。 A：塩素の残留検査を毎週、保健所の水質検査も毎月行い、水質の適正管理に努める。 Q：アルコ236改修工事に分煙室の設置とあるが、どのようにするのか。 A：入口にロビーと完全に分けた喫煙所を設置。宴会場とカラオケボックスは現状のまま。宿泊は禁煙室と喫煙室に分ける計画。 Q：道路改良工事について、工期中ずっと通行止めになっていることが多いので改善を。 A：十分考慮して発注する。 ○議案第1号 住宅の施策等について 【意見】 ・大樹町の航空宇宙産業基地計画関係の事業拡大や、駒島地域でノベルズが大規模酪農を行う予定があり、出来るだけ早く住宅供給を計画的に進めていくことが忠類にとって大事。 ・忠類地域民間賃貸住宅建設促進事業で事業者に補助金を出すよりも、個人に土地を無料で提供して家を建ててもらい、25年なり30年は定住してもらおうような施策を策定して補助金を出すべきなのは。 ・忠類に家を建てるのは地元の人。定住すると思うが、人口は増えない。 ・大樹町の人々が忠類に住みたいという声は昔からあった。宇宙基地云々でなくても少し取り込める気はする。 ・忠類には店舗が少なく、移動販売などの生活物資調達を考えないと、足の無い年寄りはもちろん、昼間働いている若い世代であっても困ることが出てくる。 ・JA忠類にあった店舗「ルピナ」も高齢者等のために残さなくてはならないと議論したが、赤字を出してまでということにはならなかった。忠類において店舗は恐らく無理。 4 閉会